

ニ中スピリッツ

学校だより 第14号 平成29年10月27日発行

【 学校教育目標 】

「つくる（創造） みがく（実践）」

帯広第二中学校開校70周年記念スローガン

「70年の感謝を込めて 新たな一歩を踏み出そう」



帯広市立帯広第二中学校

進路を考えるにあたって

ひとりひとりの生徒にとって、義務教育終了後の進路実現に向け、「自分の進路をどうするのか」「自分の進路がどうなるのか」、重大な決定をしなければならない時期となりました。単に中学を卒業したら進学する、または就職するというのではなく、これからの長い人生を展望し、「自分は将来どのように生きたいのか」、「自分の特性を生かすにはどのような職業を選べばよいのか」…というようなことも視野に入れて考えてほしいと思います。

しかし、人生経験が十分でない中学三年生にとっては、それにも限界があります。そこで判断をより適切に、自分の進路実現に意欲と自信をもって臨めるように、教職員が加わって生徒・保護者の三者で相談を行います。

相談は、生徒自身やご家庭の意向をふまえ、客観的な資料（学業成績・日常の生活の様子など）に基づいて、現状で考えられる最もよい方向を共に考え、最終的に生徒自身の手でしっかりと決めてほしいと思います。人生の進路は、中学校を卒業したときだけで決定してしまうのではなく、年代に応じて何度も「進路選択」をしなければならない場面があります。

そんな時に本人がどのように対処していくかが、長い人生を有意義に生きていけるかどうかの分かれ道になるように思います。私たちは、この人生最初の進路選択との出会いで、子どもたちが学ぶことをいろいろな場面で生かしてほしいと願っています。

【保護者の皆様へ】

子どもの進路は勝負ではありません。他の子どもと比較すべきものでもありません。「何が何でも〇〇高校を」と進学のための進学になることの無いようにお願いします。

子どもの性格・学力・特技・興味関心・将来の希望、さらには、社会や家庭の状況なども考えながら、子どもが納得できるように人生の先輩として助言をしてあげることが大切だと思います。また、これをきっかけに子どもが、将来「生きていくための力」を獲得できるような機会としてほしいと思います。

【生徒の皆さんへ】

進路に関して思い悩むことが多くなると思います。さらに、家の人と意見が合わずに悩むことも出てくると思います。だからといって自分の進路決定から逃げてはいけません。

単に進学できるところに進学する。勉強や学校が嫌いだから就職するというのではなく、これからの長い人生を展望し、「自分は将来どのように生きたいのか」、「自分の特性を生かすにはどのような職業を選べばよいのか」…というようなことを考え、家の人や先生の話をも参考にしながら自分自身の進路を自分で決定してください。



進路説明会・三者面談日程について

3年生のご家庭にはすでにご案内させていただきましたが、11月に進路説明会、ならびに三者面談が行われます。平成30年度入試の動向や入試を迎えるまでに行う準備、日程の確認などを説明させていただきますので3年生の保護者の皆様にご参加いただくと幸いです。また次の週からは三者面談を設定しております。ご家庭にて十分に相談の上、適切な進路選択となるよう支援させていただきます。お忙しい中かと存じますがどうぞよろしくお願いいたします。

進路説明会・・・11月10日（金） 6校時（14：30～15：20）

三者面談・・・11月15日（水）～24日（金）（13：30～16：00）

※三者面談の詳細日程については各学級担任よりお伝えいたします。

生徒総会が行われました

10月24日（火）に新生徒会役員が先導し、後期の生徒総会が行われました。各学級で行われた議案審議をもとに、二中をより良くするための質問が出されました。新しく任命された各常任委員長からは的確な返答があり、聞いている全校生徒も真剣な表情で受け止めていたようです。先輩たちが築いてきた二中伝統のASK運動をはじめ、70年の歴史をしっかりと背負い「より良い二中」を創ってほしいと願っています。



新生徒会長さん

学級代表からの質問

新常任委員長

真剣に聴く生徒たち

「シェア道德」に取り組んでいます

今年度の本校は「道德」の授業を研修テーマとして全教職員で研究に取り組んでおります。H31年度からは「特別の教科 道德」として完全実施されることを受け、心豊かにたくましく成長する中学生の育成を目指し、昨年度からこの研究を進めております。今年度は「授業実践」に重点を置き、先生方を各学年ごとのチームに分け、各先生方が自分の所属する学年すべてのクラスで道德の授業を行う「シェア道德」を実践しております。この10月からはいよいよ「シェア道德」が本格化し、各学年とも担任だけでなく、様々な先生方が工夫を凝らした道德の授業を受けています。どの生徒もテーマについて真剣に考え、より良く生きていくためのヒントを得ているようです。ぜひご家庭でも「シェア道德」を話題にし、親子で話し合ってみてください。

